学んだ英語を実地で使う＋将来を考える旅

2020年ツアー参加者
アンケート コメント集

Melbourne Future Design Tour

このツアーは、グループでの実践的な英語によるコミュニケーションの機会をたくさん用意しています。
個人ではできない体験を積み、コミュニケーション力を試すとともに、将来に向けての視野を広げるツアーです。
前回2020年2月のツアー参加者アンケートをまとめました。参考にご覧ください。

【このツアーを一言で言うと？】

・自信がつく　・物事の考え方を変えるツアー　・新しい自分に出会える
・自分自身や世界への価値観、先入観を変える機会が得られるツアー　・積極性
・世界が広がる体験　・意欲向上　・楽しい上に勉強になる一石二鳥のツアー
・自分を変えられる絶好のチャンス！新たな可能性を発見できる絶好のチャンス！自分の中の世界を広げられる絶好のチャンス！

【ツアー全体を通じて発見したこと】

・現地の人々の親しみやすさとおおらかさ。
・初対面でもあいさつから会話が広がったこと。日本ではありえないことだから。
・店員さんの態度に驚いた。店に入れば挨拶してくれるし、何も買わずに外に出ても笑顔で見送ってくれたから。
・多文化共生が浸透していて、自分の過ごしやすい周囲が過ごしやすい社会を目指していることが感じられた。

2020年2月16日と18日出発の2コース　大阪発着　8日間で催行しました。

1日目　集合・出発
2日目　現地到着　現地で働く日本人の方へのインタビュー
3日目　午前：バイリンガル小学校訪問　午後：グループ活動
4日目　午前：市内ウォーキングツアー　午後：グループ活動
5日目　終日フィリップ棟で meet♡コアラ&ペンギン
6日目　終日自由行動
7日目　まとめの会　日本へ
8日目　帰国

制作：大学生協事業連合　関西北陸地区キャリア支援事業部

※このアンケートコメント集は個人の感想としてご覧ください。また、ツアー内容が前回とは一部異なる場合がありますのであらかじめご了承下さい。

【このツアーに申し込んだポイントは？】

・講座で学んだことを活かしたかった。
・普通の旅行ではできない体験ができるから。
・海外に行ってみたかったのと、英語で会話をがっつりしてみたかった。
・経験として海外に行きたくて、かつ大学生協のツアーなら安全に行けると思ったから。
・海外の文化に触れて自分の視野を広げられること。
・メルボルン観光、語学上達、新しい経験、全てこの旅行で達成できると思ったから。

【それぞれのプログラムについて…】

在メルボルン日本総領事館訪問

・とても貴重なお話が聞けたし、質問にも丁寧に答えてくださったのでうれしかった。
・機会がなければ訪問できない場所だったので、お話が聞けてよかった。外務省というとカタいイメージだったが、思いの外楽しい雰囲気だった。
・外交官という仕事や領事館の役割、経験談などを聞けて非常にためになりました。
・オーストラリアの現状を詳しく知ることができ、日本と比較してこれからの日本の課題を知ることができた。

JTBオーストラリア訪問

・海外で働くことに憧れは元々ありましたが、実際に働いている方の話を聞くことで、憧れだけでなくリアリティを持って将来について考えることができた。
・働くという視点から見たオーストラリアのことが知れた。自分の将来の夢を考える時に役立つ考え方を教わったように思う。
・海外で働くということがとても身近に感じられ、そのために自分がすべきことを探すきっかけになった。
・客観的に見た日本やメルボルンに住んで仕事することの魅力や大変だと思うことなどを聞けたことがとてもよかったです。将来にはいろいろな道があることを知ることができたし、興味の幅がより広がりました。

バイリンガル小学校訪問・授業アシスタント体験

・現地の子供たちが英語と日本語を上手に使いこなしていたのが印象に残った。
・日本でのあたりまえと全く異なることを改めて実感できた。
・日本の教育と大きく違ってたのは衝撃だった。日本人との性格や文化が大きく違う所以が知れた気がしてとても面白かった。
・自分だけではなかなか行けない場所であるし、教育制度や子供を育てる環境のこと、バイリンガル教育を受けている子供たちの様子など、学んだことが一番多い体験だった。

メルボルン市内・英語多文化Walking Tour

・リスニング能力が養われた。ガイドさんの話題の切り替えが早く質問するのに必死で伝わらない部分も多かったので、自分の英語を見直すよいきっかけになった。
・自分達だけでは分からなかった歴史やショップを知ることができた。歩くのが早くてついて行くのが大変だった。
・自分から進んで英語で質問しに行くことを実践する絶好の場になり学ぶことがたくさんありました。語学面だけでなくメルボルンやオーストラリアの文化、歴史的知識もつけることができよかったです。

Koala Conservation Centre 環境レンジャーガイドツアー

・人生初リアルコアラをとても近い位置で見ることができた。ガイドの方もとても話しやすくコミュニケーションがたくさんとれた。
・１日かけて野生動物について考え、動物を見て回ることができるよいプログラムだった。コアラを近くで見れたのもよかった。動物園とは違った体験をする事ができた。
・コアラの生態についてジョークを交えながら分かりやすく楽しく教えてくださり、とても楽しみながら学びました。マーテインに感謝です。

フィリップ島・Penguin Parade Visitor Centre ボランティア体験

・ペンギンが思ってたより小さく癒された。
・巣箱作りでは英語でしっかりと会話できた。
・野生のペンギンが歩く姿が愛らしかった。予想時刻通りに現れるのには驚きだった。
・あんなに小さなペンギンが自力で海から上がってきて、陸の自分の住処に帰っていくという光景はもちろんかわいかったが、ただかわいいだけでは済ますことはできない強い生命力を感じました。

グループ行動

・自分の行きたかった所も、自分一人では絶対に行かないような所も行く事ができた。
・みんなが始めの時よりもどんどん積極的になっていくのが分かって、お互い高め合えたし何よりも楽しかった。
・毎日たくさん歩き回って行きたい場所に行けたのが満足。お互い意見を出し合ったり協力して情報収集したり、自然と仲良くなえたと思う。
・トラムを乗り間違えるといったトラブルがあるのも、またいい経験になりました。少人数だからこそだらけることなく自分から英語を使うきっかけを作れました。自分達で考えて行動する自立のチャンスをつかめました。

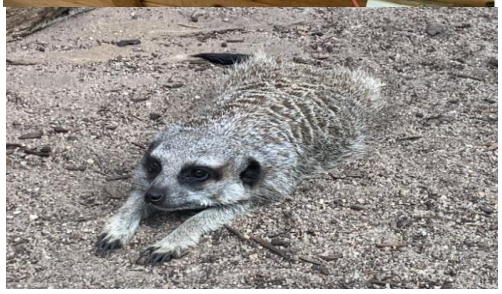
ミーティング／まとめの会

・毎日ミーティングのおかげで目標を持ってプログラムに参加することができた。周りの発表もいい刺激になった。
・ただ楽しかっただけで終わらせるのではなく反省の時間を設けることで、より英語上達までの道のりが見えました。
・ミーティングがあったことで自分が今日何をすべきなのか考えたり、次に何に挑戦するのか明確になった。
・ミーティングで今日自分が体験したこと感じたことをアウトプットすることで、改めて学んだことを認識できるし、他の人の発表やアドバイスを聞くと、次の日の目標が定まり意識も向上した。学びを深める上で必要な場だった。

【大きな学びだったと思うことはありましたか？】

・将来の職業・仕事に、「海外」ということを１つの選択として入れることができた。
・全てを平均くらいできるようになっても、海外では通用しないことを知った。
・今まで店員さんとも必要最低限の会話しかしていなかったので、自分から話しかけることでより多くを知れることが分かった（知識とか経験とか）。案外自分もやればできるもんだなと思った。

・自分の英語がどのくらい通じるのかを身をもって体感できた。だんだん話しかけることに抵抗がなくなり、わからなかったら聞いてみようと思えるようになった。英語を話すことに対して自信がついた。
・抵抗なく積極的に英語で話せるようになり、最後にはリラックスして会話を楽しめるようになれたことは、大きな学びであり成長だったと思います。
・自分の英語に自信を持つこと、日本と文化が全く異なっていることを実感できた。
・英語を話そうとする姿勢が、相手の聞いてくれようとする姿勢につながること。あきらめずに伝えたいことを伝えるのが大切だと思った。海外に出て学ぶことで日本との違いを発見できたり、違う文化、価値観に触れられた。将来の視野を広げられたような気がする。



・オーストラリアは子供の頃から多文化共生で育っていて、「外国人」、「外国語」に苦手意識を持っていないこと。完璧な英文じゃなくても、伝えようとする意識があれば伝わること。自分が動かなければ何も得ることがないし、周りに遅れを取るということ。自分が思っている以上の世界が、自分の知らないところで広がっていて視野を広く持ちたいと思った。コミュニケーション能力は、どんな仕事に就いても社会で生きる上で、今回学んだことは役立てられると思う。

【苦労したことは？】

・食事の量が総じて多いということ。自分の食べられる量のメニューを見極めるのが大変だった。
・自分の伝えたいことが上手に伝わらないこと。言いかえても分かってくれないことがあった。
・毎日歩き通しでどんどん疲れていくけど目標は高くなるので、根気というか気力をすごく消費した。

【自分にとっていちばん意味のあった体験は？】

・ウォーキングツアー。自分の英語力に自信がつき、今後も海外に行きたいと思えた。
・現地の人との会話全般。会話することによって現地の人の国民性を知ることができたから。
・マーケットで自分だけで買い物をして店員さんと会話できたこと。声すらかけられなかった自分がそれをやって、もっと話したいと思っていることにびっくりした。
・ガイドさんや店員を含め、街の人たちと会話を楽しむことができたこと。自分の英語が通じた時は自信になったし、逆に上手く伝わらなかった体験は、もっと英語を話せるようになりたいという、英語を学ぶモチベーションの向上につながった。
・小学校でのアシスタント。個性を大切にする教育から文化観を理解できたし、自分の将来にも活かせると思った。
・海外で過ごすことで初めて日本を客観的に見ることができ、日本にずっといたら気づくことのなかった日本の良さや、逆に海外の方が良いなあと思う点など様々なことが分かりました。

【このツアーのおすすめポイントは？】

・しゃべらなければどうにもならないところ。
・学ぶ時間と遊ぶ時間のメリハリがちゃんとしている。
・全て。なかなかできない体験をしながら自由行動もあるのがとても良い。
・観光旅行だけでは得られない学びができる、メルボルンの魅力を堪能できること。
・少人数で総領事館で働く方の貴重なお話を聞ける点。英語コミュニケーション講座で学んだことを、現地でアウトプットできる点。
・普段体験できないような活動を海外で行える。仲間同士で助け合いながら、自分の目標に向かって取り組める。
・同じグループのみんなと互いに高め合いながら英語を学べること。
・自分の英語が通じるか」という不安よりも、「今の自分はどこまでやれるか」というワクワク感。
・英語を上達させたいと思う同じ仲間と新しく出会い、共に英語を実戦することで、より意欲が上がるし、達成感ややりがいも大きい。